

国際会議「GLOBAL 2005」の開催について

平成 17 年 10 月 4 日
社団法人 日本原子力学会
GLOBAL 2005 実行委員会

《ポイント》

- 石油が 70 ドル/ バレルの中で、原子力を発電、再処理、燃料貯蔵、廃棄物処理処分までのトータルで考える国際会議。
- 原子力が社会的信頼獲得に成功していない中で、地元、つくば市およびつくば市教育委員会の連携のもとに、エネルギーおよび原子力を冷静かつ科学的に一緒に考える機会を与えることは、非常に大きな意味を持つ。

1. 会議の名称

GLOBAL 2005

- Nuclear Energy System for Future Generation and Global Sustainability -

2. 会議の趣旨

国際会議「GLOBAL」は 1993 年に米国シアトル市で第 1 回の会議が開催されて以来、フランス、日本、米国で 2 年おきに開催される新しい核燃料サイクルなどを取り入れた革新的な原子力システムに関する話題を中心とした国際会議です。

世界は今、限りある資源である石油の大量消費による発展と、その石油の燃焼による地球規模の温暖化という相容れない事象のもと歩み続け、地球規模での課題が積み重なっております。このような中、我が国ばかりでなく多くの国々にとってエネルギー密度が高く、温暖化ガスのほとんど発生しない原子力は、世界の安定な発展にはなくてはならないものになっています。

一方、今後長期にわたって原子力を利用していくためには、より安全で経済性の高い原子炉、燃料サイクルや放射性廃棄物処理処分の合理化を追求した新しい原子力システムの開発が求められています。国際的にもこのような動きは始まっており、次世代の新しい原子炉を開発する「第 4 世代原子炉技術 (Generation-IV)」計画や革新的な燃料サイクルの技術を開発する次世代燃料サイクル計画(Advanced Fuel Cycle Initiative)が立ち上がるとともに、米国など世界的にも原子力利用の流れが再び始まってきています。このような中、このたび第 7 回の GLOBAL 国際会議が、「次世代と世界の持続的発展のための原子力エネルギーシステム」をテーマとして、2005 年 10 月 9 日から 13 日まで、研究学園都市の茨城県つくば市で開催されることになりました。

3. 会議の日程

2005 年 10 月 9 日 (日) ~ 13 日 (木)

4. 開催場所

茨城県つくば市 つくば国際会議場（エポカルつくば）

5. 主催等

（主催）日本原子力学会 （共催）日本原子力研究開発機構

（後援）つくば市、つくば市教育委員会、筑波研究学園都市交流協議会、各国原子力学会（米国、欧州、カナダ、韓国、中国）、国際原子力機関(IAEA)、経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)、欧州委員会(EC)

6. 会議の規模

参加予定人数：約 550 名、参加国数：32 カ国・国際機関

受け付けた論文数は 452 で過去の GLOBAL 会議で最大

7. 会議の内容

会議では、先進的な原子力システム、すなわち新型原子炉やその利用、燃料再処理・リサイクル、長寿命放射性物質の分離・核変換、燃料、材料、放射性廃棄物の処理・処分などについての発表と議論が行われます。また、次世代原子力システムの開発に関する国際的な研究の状況や成果に着目しつつ、原子力政策、開発計画、国際協力や核不拡散など世界に共通する課題も議論されます。

さらに会議では、我が国の原子力委員会委員長・近藤駿介氏、IAEA 事務次長(原子力開発担当)Sokolov 氏、“Atoms for Peace”を提唱した米国第 34 代大統領の孫娘 S.Eisenhower 氏など、世界的に原子力界をリードしている多くの方々の講演や研究発表が予定されています。

8. つくば市、つくば教育委員会との連携

10 月 10 日には、同時期に開催されるつくば市・つくば市教育委員会主催の「つくば科学フェスティバル 2005」との連携企画として、一般市民や児童・生徒に国際会議を公開し、世界が真剣に原子力の問題、課題に取り組んでいることを知ってもらうとともに、つくば市教育委員会の展示や特別講演を行います。

教育委員会の展示では、エネルギー教育先進地・つくば市の小中学生による「エネルギー調べたい」の展示とエネルギー・原子力教育に関する実践発表が行われます。

また、生徒や一般市民を対象として、元国立環境研究所長で富山国際大学教授の石井吉徳氏による「高く乏しい石油時代が来た。わが国のプラン B のあり方を考える」、元原子力委員で日本原子力学会再処理・リサイクル部会長の竹内哲夫氏による「石油渴望時代に備えて原子力のリサイクルを皆で進めよう」と題する特別講演を行うほか、関連ビデオの上映を行います(参加費無料)。

9. 参加費

一般：60,000 円、学生：30,000 円、シニア：40,000 円(当日支払い 5,000 円増し)
但し、10 月 10 日の上記連携企画（会議一般公開 - 開会挨拶と各国代表による基調講演、展示、特別講演、ビデオ上映）への参加は無料

（本件の問合せ先）

GLOBAL 2005 実行委員会

幹事 天野 治（電力中央研究所）

TEL： 070-6568-9168 又は 03-3480-2111（内線 2951）

事務局長 駒 義和（日本原子力研究開発機構）

E-mail： info@global2005.org（事務局共通）

ホームページ： <http://www.global2005.org/>